

令和6年度事業報告

社会福祉法人千代の会

1. 総 括

(1) 法人関係

令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ同様に、第5類感染症に引き下げられ、様々な規制緩和がなされるなか、みどりの風においては利用者をこの感染症から守るため、引き続き感染対策を徹底しております。

今年度も職員の感染者が散見し、その都度ご家族様のご理解・ご協力を得て面会制限等実施してきました。

今後も、近隣地域の感染状況を的確に把握したうえで、クラスターが発生しないよう、早めの対応に心がけてまいります。

世界情勢は、冷戦終結以降これまで調和外交によって進められてきましたが、近年は自国第一主義を唱える指導者が増えております。

特に大国といわれる国の動向によって多くの国が振り回されており、情勢はますます混迷をきたし、民主主義は危機的状況になっているように思われます。

世界経済は紛争（戦争）や関税問題等により、先行きが見通せない状況となっており、不安定な状況が続いております。

日本経済も円安や物価高騰によるインフレが続いており、賃金が物価に追いついていない現状が続く、国民の暮らしは厳しくなっております。

令和6年度は、3年に一度の介護報酬改定が行われました。

内容的には、賃金や物価高騰に配慮し、①介護報酬の引き上げ（特養＝一日当たり+180円～260円、SS＝80円～110円、DS＝30円～60円）②エネルギー価格の高騰に伴う住居費基準額の引き上げ（一日当たり+60円）③介護職員等への加算金制度の改正等です。

但し、食費関係の引き上げはありませんでしたので、みどりの風では物価や近隣施設の動向を考慮したうえで、やむを得ず令和6年7月利用分より一日当たり220円（1,480→1,700円）引き上げさせていただきました。

近年、国内産業は労働力不足に見舞われており、外国人労働者への依存度がますます高くなっております。

介護に携わる人材も慢性的に不足しており、2025年問題（国民の4人に1人が75歳以上の高齢者）に突入し、今後さらに高齢化が進む中、2035年には全国で約70万人の介護員不足が想定されております。

みどりの風においては、常態化する介護員不足を補うため、7年ほど前から外国（インドネシア）からの技能実習生や特定技能者を採用して業務を運営しており、今後もハローワーク・SNS・紹介業者を介して計画的に採用する必要があります。

我が国は、自然災害の多い国です。特に震災や水害は多くの被害をもたらしており、2011年3月に発生した東日本大震災（最大震度7と津波）では、災害関連死を含めると22,325名の尊い命が失われ、2016年4月に発生した熊本地震（最大震度7）でも276名の死者が出てしまいました。

また、昨年1月1日に発生した能登半島地震（最大震度7）でも、死者・不明合わせて517名の被害が出てしまいました。さらに、この地域では9月に発生した豪雨災害により、16名の方が亡くなってしまいました。

本施設は、地層的には活断層（太田断層）が近接しており、また一級河川利根川と渡良瀬川に挟まれた低地に位置しており、水害想定地域に指定されていることから、普段から対策を講じておく必要があります。

また、万が一被災した場合でも、利用者の生命を守ることはもちろんですが、早期に普段の生活ができるよう努める必要があります。

そこで、昨年策定したBCP（業務継続計画）に添って訓練や職員研修を定期的に行うことで万全な準備を行っておく必要があります。

（2） 会議の開催

1. 各種会議関係報告

○今年度においては、新型コロナが第5類感染症に引き下げられたことから、地域の感染状況を考慮するとともに、感染対策を徹底し、下記のとおり開催しました。

- （1） 監事監査……令和6年6月3日（月）令和5年度事業結果及び決算について監事さんによる監査を実施しました。

（2） 理事会

1) 第1回理事会……令和6年6月14日（金）

- ・第1号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会事業結果について（承認）
- ・第2号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会歳入歳出決算について（承認）
- ・第3号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会決算監査報告について（承認）
- ・第4号議案：デイサービスセンターみどりの風運営規程の変更について（承認）
- ・第5号議案：社会福祉法人千代の会職員給与規程の変更について（承認）

2) 第2回理事会……令和6年9月27日（金）

- ・第1号議案：令和6年度社会福祉法人千代の会歳入歳出補正予算（第1号）について（承認）

- ・第2号議案：令和6年度社会福祉法人千代の会各運営規程の変更について（承認）
- ・第3号議案：令和6年度社会福祉法人千代の会職員就業規則の変更について（承認）

3) 第3回理事会……令和7年3月14日（金）

- ・第1号議案：令和6年度社会福祉法人千代の会歳入歳出補正予算（第2号）について（承認）
- ・第2号議案：令和7年度社会福祉法人千代の会事業計画（案）について（承認）
- ・第3号議案：令和7年度社会福祉法人千代の会歳入歳出予算（案）について（承認）
- ・第4号議案：社会福祉法人千代の会育児・介護休業規則の変更について（承認）
- ・第5号議案：社会福祉法人千代の会経理規程の変更について（承認）
- ・第6号議案：社会福祉法人千代の会旅費規程の変更について（承認）
- ・第7号議案：特別養護老人ホームみどりの風施設長選任について（承認）

（3） 評議員会

1) 第1回評議員会……令和6年6月21日（金）

- ・第1号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会事業結果報告について（承認）
- ・第2号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会歳入歳出決算について（承認）
- ・第3号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会決算監査報告について（承認）
- ・第4号議案：デイサービスセンターみどりの風運営規程の変更について（承認）
- ・第5号議案：社会福祉法人千代の会職員給与規程の変更について（承認）

2) 第2回評議員会……令和7年3月25日（火）

- ・第1号議案：令和6年度社会福祉法人千代の会歳入歳出補正予算（第2号）について（承認）
- ・第2号議案：令和7年度社会福祉法人千代の会事業計画（案）について（承認）
- ・第3号議案：令和7年度社会福祉法人千代の会歳入歳出予算（案）について（承認）
- ・第4号議案：社会福祉法人千代の会育児・介護休業規則の変更について（承認）
- ・第5号議案：社会福祉法人千代の会経理規程の変更について（承認）
- ・第6号議案：社会福祉法人千代の会旅費規程の変更について（承認）

（4） 職員の外部研修

- ・今年度も主にオンラインで研修に参加。

2. 職員人事・処遇についての報告

（1） 職員の採用

- ・令和6年度においても職員不足が続いている中、年度内に関係職員（介護支援専門員1名、介護職員2名、事務職員1名）の退職者が出てしまったことから、関係職員の補充に向け鋭意職員募集に努めたが、応募者が無い状況が続き厳しい状況でありました。

そこで、本年度もやむを得ず職員紹介業者による紹介に頼ることとしました。

・令和6年度職員採用状況

- 新規採用・・・事務長・・・1名、管理栄養士・・・1名、施設ケアマネ・・・1名
介護職員・・・正職員2名、(内、紹介業者による採用1名)
〃・・・特定技能1名、パート1名
事務員・・・3名(正職員2名、パート1名)

計10名

- 退職者・・・介護職員・・・施設長1名、正職員1名、パート1名、事務職員・・・正職員1名、
パート1名、居宅ケアマネ・・・正職員1名

計4名

- 令和7年4・5月採用予定・・・管理栄養士1名、介護職員1名(紹介により採用確定)

(2) 職員処遇

- ・令和6年6月28日付で正職員については、夏季賞与(1.7ヶ月)支給。臨時職員についても、勤務状況により、賞与として3万円～5万円支給しました。
- ・6月28日付で介護職員処遇改善加算金(介護職員のみ)及び特定処遇改善加算金、ベースアップ加算(過年度分)を支給しました。
- ・12月13日付で正職員については、冬季賞与(2.0ヶ月)支給。臨時職員についても、勤務状況により、賞与として3万円～8万円支給しました。
- ・令和6年7月より、介護職員等の処遇改善関係が一本化されるとともに、職員処遇について法人の弾力運用が認められたことから、処遇改善加算を活用し、職員給与規程(初任給基準、管理職手当及び通勤手当)を変更させていただきました。

また、この加算を原資に、介護職員給与の定期昇給(1.0～3.0%)を、その他の職員についても法人負担により定期昇給(1%～2%程度)を実施しました。

さらに法人の全職員に対し、勤務形態により加算手当として、毎月5,000円～17,000円を支給し、令和7年3月末には、受給残額を一時金として支給しております。

3. 事業関係の報告

○令和6年度におけるみどりの風の各事業についての事業結果については、別表のとおりであります。

4. 工事及び修繕関係についての報告

(1) 工事関係

- ・厨房空調設備入替工事 3,740,000円(請負業者:新和建设(株))

- ・たんぽぽ・れんげ棟汚物処理槽設置工事 1,078,000 円（請負業者：新和建设(株)）
- ・洗濯室汚物処理機入替 1,375,000 円（リース：三洋商事(株)）

(2) その他修繕工事

- ・ユニット網戸等修繕・駐車場整備他 1,010,900 円（請負業者：新和建设(株)）
- ・実習生宿舍床張替え・ユニット引戸修繕 381,286 円（請負業者：横塚工務店）
- ・エアコン修理 (計4回) 273,240 円
(請負業者：パナソニック産機システム)
- ・PHS修理 (計4回) 248,820 円（請負業者：星野総合商事）
- ・浄化槽ポンプ修理 (計2回) 171,600 円（請負業者：千代田清掃）
- ・洗濯室洗濯機修理 167,200 円（請負業者：三洋商事(株)）

みどりの風事業別実績表

1. 特養事業

定員数 70

令和5年度					令和6年度					備考
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	
4	30	2,100	1,676	79.8	4	30	2,100	1,754	83.5	3.7
5	31	2,170	1,758	81.0	5	31	2,170	1,745	80.4	-0.6
6	30	2,100	1,710	81.4	6	30	2,100	1,650	78.6	-2.9
7	31	2,170	1,767	81.4	7	31	2,170	1,708	78.7	-2.7
8	31	2,170	1,736	80.0	8	31	2,170	1,757	81.0	1.0
9	30	2,100	1,688	80.4	9	30	2,100	1,702	81.0	0.7
10	31	2,170	1,770	81.6	10	31	2,170	1,781	82.1	0.5
11	30	2,100	1,742	83.0	11	30	2,100	1,708	81.3	-1.6
12	31	2,170	1,832	84.4	12	31	2,170	1,765	81.3	-3.1
1	31	2,170	1,872	86.3	1	31	2,170	1,736	80.0	-6.3
2	29	2,030	1,763	86.8	2	28	1,960	1,516	77.3	-9.5
3	31	2,170	1,841	84.8	3	31	2,170	1,723	79.4	-5.4
計	366	25,620	21,155	82.6	計	365	25,550	20,545	80.4	-2.2

2. 短期入所事業

定員数 8

令和5年度					令和6年度					備考
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	
4	30	240	472	196.7	4	30	240	380	158.3	-38.3
5	31	248	380	153.2	5	31	248	414	166.9	13.7
6	30	240	319	132.9	6	30	240	454	189.2	56.3
7	31	248	402	162.1	7	31	248	513	206.9	44.8
8	31	248	530	213.7	8	31	248	542	218.5	4.8
9	30	240	562	234.2	9	30	240	440	183.3	-50.8
10	31	248	527	212.5	10	31	248	518	208.9	-3.6
11	30	240	378	157.5	11	30	240	447	186.3	28.8
12	31	248	467	188.3	12	31	248	496	200.0	11.7
1	31	248	424	171.0	1	31	248	452	182.3	11.3
2	29	232	362	156.0	2	28	224	431	192.4	36.4
3	31	248	376	151.6	3	31	248	351	141.5	-10.1
計	366	2,928	5,199	177.6	計	365	2,920	5,438	186.2	8.7
		28,548	26,354	92.3			28,470	25,983	91.3	-1.1

3. 通所介護事業

定員数 25

令和5年度					令和6年度					備考
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	
4	25	625	361	57.8	4	26	650	328	50.5	-7.3
5	27	675	353	52.3	5	27	675	310	45.9	-6.4
6	26	650	326	50.2	6	25	625	290	46.4	-3.8
7	26	650	351	54.0	7	27	675	304	45.0	-9.0
8	27	675	366	54.2	8	27	675	317	47.0	-7.3
9	26	650	345	53.1	9	25	625	300	48.0	-5.1
10	26	650	346	53.2	10	27	675	329	48.7	-4.5
11	26	650	319	49.1	11	26	650	313	48.2	-0.9
12	26	650	310	47.7	12	26	650	326	50.2	2.5
1	24	600	272	45.3	1	24	600	272	45.3	0.0
2	25	625	279	44.6	2	24	600	240	40.0	-4.6
3	26	650	293	45.1	3	26	650	246	37.8	-7.2
計	310	7750	3,921	50.6	計	310	7,750	3,575	46.1	-4.5

4. 居宅介護支援事業

令和5年度					令和6年度						備 考
月	ケアプラン作成		合計	備 考	月	ケアプラン作成		利用者数	対前年比		
	要支援	要介護				要支援	要介護		増減数	比率(%)	
4	13	42	55		4	14	53	67	12	121.8	
5	13	35	48		5	20	57	77	29	160.4	
6	14	39	53		6	21	56	77	24	145.3	
7	13	42	55		7	21	58	79	24	143.6	
8	13	44	57		8	21	59	80	23	140.4	
9	14	46	60		9	21	57	78	18	130.0	
10	14	47	61		10	21	58	79	18	129.5	
11	16	46	62		11	19	56	75	13	121.0	
12	14	48	62		12	19	50	69	7	111.3	
1	12	47	59		1	17	48	65	6	110.2	
2	12	47	59		2	18	44	62	3	105.1	
3	11	54	65		3	19	42	61	-4	93.8	
計	159	537	696		計	231	638	869	173	124.9	

令和6年度の主な事業報告

社会福祉法人 千代の会

社会福祉事業

【特別養護老人ホーム（ユニット）関係】

①施設での日常生活において、各ユニットが入居者様へのADL(日常生活活動度)把握、向上、低下の防止（維持）を図り、サービスの質の向上、又、職員の資質向上を目標に日々取り組んだ。

令和5年度	令和6年度
1.移動・移乗の自立向上・支援 ・日常生活における基本的な動作において、本人の体調を考慮した上で自立向上を支援しました。（機械浴から一般浴への向上） また、入居者様の重度化が進む中、入浴については個浴から機械浴への安易な移行は行わず、入居者様の自立支援、残存機能の活用、又、職員の身体的負担、業務時間の調整やコスト面など様々な面から考慮し、可能な限り個浴での対応に努めました。	1.移動・移乗の自立向上・支援 ・重度化する利用者様に対して移動・移乗に関して車椅子の使用、ベッド又は超低床ベッドの使用が増加傾向にある中、長年の使用により劣化した使用不可の車椅子や電動ベッドを入れ替え、更に追加で車椅子の購入も行い設備を整えました。又、移乗介助時の腰痛予防の研修も各ユニットで行っており、令和6年度は腰痛の職員も例年に比べ減少しています。
2.食事の自立向上・支援 ・入居者様の嚥下状態を見極め、把握し、それぞれに適した食事形態を検討して提供することで、自力摂取、咀嚼を促すことへの支援に努めました。 ・栄養マネジメントの観点から、個々の状態に合わせ、身体の維持・向上、体重コントロールに努めました。（昨年同様）	2.食事の自立向上・支援 ・介護面を考慮しつつ見た目など本人の食欲が出ると思う食事形態、制限が無い方には満足 of いく食事量、嗜好に応じてふりかけなどの+αを出来る限り提供しました。食事の場所も居室希望など選べるように自由度を持たせて対応しました。食行事も定期的を実施しております。楽しみの1つである食事を少しでも良いものになしようと活動しました。
3.排泄の自立向上・支援 ・医務との連携により、身体的なリスクを伴わないよう、個々に合った排便コントロールに努めました。（昨年同様）	3.排泄の自立向上・支援 ・継続して医務との連携を行いながら、個々に合った排便コントロールに努めました。 ・オムツ交換対象の方については、皮膚トラブルを起こさない様に体位交換、陰洗の徹底を注意しながら行いました。又、コスト面について少しでも抑える為、使用オムツ・パットを適当なサイズに適宜見直し、変更をすることで消費枚数を抑えました。職員とユニ・チャーム担当者で相談、データの集計（3ヶ月に1度）を行う事で情報収集を行いコスト削減に効果が見られました。

4.その他の生活動作に関する自立向上・支援 ・普段の生活動作の中から自身で行えるものを日々見極め、把握することで、出来る部分を自身で行えるよう促し、その日の体調等を考慮した上で一部介助するよう支援しました。 ・整容や着脱といった日常生活の中で必要とされる細やかな動作まで、本人の負担を考慮し、自立を促す支援から、一部介助又は全介助を必要とされる支援まで見極めて実践できました。 ・誕生日など特別な行事や食行事等（外出はまだ不可）を各ユニットで企画することで、入居者様の生活に変化をつけられました。	4.その他の生活動作に関する自立向上・支援 ・感染症対策の時期から落ち着きも徐々に取り戻してきており、全体でのレクリエーション活動も週1回程度のペースで行うことが出来ました。各々隔離される期間などもあった中、全体的にはADLの低下が見られましたが、各ユニット内で行事企画を実施するなどして閉鎖された空間に何か刺激や変化を取り入れようと試行錯誤しながら活動することが出来ました。
5.環境整備に関する取り組み・支援 ・年末に退職者が複数出たことで冬季は人手不足が問題となりましたが、令和6年3～4月には新しい職員も入職したことである程度は解消されています。指導・育成が今後の課題となります。 ・施設の細かいところに様々な不具合が発生しており、今後それら（コンセント、各扉、壁、天井など）の修理や改修が今後の課題となっています。また増設した新棟においてナースコールが居室毎に個別化されない不具合、外線がかけれない、PHSの電波が届かない、居室の水道はお湯が出ない（水しか出ない）、共同トイレの使用は車椅子使用が困難などについても、今後の環境整備取り組みの課題となっています。	5.環境整備に関する取り組み・支援 ・特養部門では4月から介護職員3名、施設ケアマネージャー1名が加わり、ユニットの職員数は充実してきました。育成面での課題は多くあるものの、若い世代が増えてきたことで後輩の育成に対する意識の向上も見られ、リーダー職を始めとした多くの職員に目標が出来ました。 ・コンセント、扉の修理を行いました。 ・大型エアコンの不具合が続き、今冬は廊下を含めた各箇所に灯油ファンヒーターを臨時で設置使用する事態となりました。大型エアコンについては令和7年度夏までに改修予定。
6.月別稼働率 4月 91.8% 5月 88.4% 6月 86.7% 7月 89.7% 8月 93.7% 9月 96.2% 10月 95.0% 11月 90.6% 12月 95.1% 1月 95.0% 2月 93.9% 3月 91.7%	6.月別稼働率 4月 91.2% 5月 89.3% 6月 89.9% 7月 91.9% 8月 95.1% 9月 91.5% 10月 95.1% 11月 92.1% 12月 93.5% 1月 90.5% 2月 89.1% 3月 85.8%

【補足】 コロナウイルスの影響はかなり受けにくくなったものの、冬季（2～3月頃）にはクラスターが発生してショートステイについては2ヶ月程受け入れに影響が出ている。稼働率が維持出来たのはロングショートを受け入れを多くしていた為、入退所させずに済んだことと、例年は長期入所から退所者が11～2月頃に多く出る傾向ですが令和5年度については少なかったことが要因と考えられます。昨年度よりも全体的に稼働率の上昇と維持をすることが出来ました。	【補足】 年末まで昨年度同等かそれ以上の稼働率をキープしていましたが、12月頃から昨年度と比較して体調を崩してしまう方が多く、ショートステイはキャンセルが相次ぎ、長期入所者からも毎月数名退所者が出てしまう状況となっていました。入所待機者についても実質ほばいない状態となっており、新規の確保が必要となっています。その為、病院や居宅からの受け入れに幅を持たせることに加え、空所は一時的に繋ぐロングショートよりも長期入所を視野に入れた受け入れが優先となります。
7.外国人技能実習生の受け入れ ・令和5年度の受け入れはありませんでした。	7.外国人技能実習生の受け入れ ・令和6年度の受け入れはありませんでした。 ※特定技能1名受け入れ有り
8.職員の資質向上と施設内研修の充実 ・一部の研修（資格や修了に関わる喀痰吸引や実務者研修など）と技能実習生関係については実施した内容もありましたが、昨年度同様Zoomなどオンラインセミナーが主流で参加しました。	8.職員の資質向上と施設内研修の充実 ・様々なオンライン研修に加え、外部から講師を招いての内部研修（オムツ排泄研修）も行いました。又、喀痰吸引の研修では個人で受講場所を探してもらい通いやすい場所で受けてもらいました。介護福祉士、喀痰吸引など施設に必要な内容の資格については、受講者を増やす為にも通えるシフト調整、費用の補助が必要と思われます。

②社会的自立向上

1.入居者様の職員担当制の充実 ・コロナ禍により原則面会が行えなくなったため、各ユニットの入居者様の状態が御家族様に伝わるように、電話又はLINE電話による面会を継続して行いました。 ホームページの活用、写真や手紙などの送付も継続して行いました。 ・重要な連絡に関しては、御家族様と施設間での混乱を避けるため、管理者又は各リーダーが行いました。	1.入居者様の職員担当制の充実 ・面会が応接室で行えるようになった為、家族がより近くで面会出来る環境でした。それまで電話連絡が主であった環境から直接会ってご家族様とコミュニケーションが取れるようになりました。 ・ホームページの活用、写真や手紙などの送付も継続して行いました。（月2回更新） ・重要な連絡に関しては、御家族様と施設間での混乱を避けるため、管理者又は各リーダーが行いました。
2.地域社会との交流 ・ほぼ全ての交流がコロナ禍により中止となりました。（訪問の床屋や歯医者など一部を除く）	2.地域社会との交流 ・感染症の発生でも対象ユニット以外のは原則通常通り行った（歯医者や床屋など） 外出・外泊・外部を交えた行事については外出を除いて中止して行いました。

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人 千代の会

通所介護事業

令和 6 年度事業計画	結果報告
I 通所介護事業基本方針 1. 介護保険法の趣旨に従い、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようサービスを提供します。 2. 必要な日常生活上の介助および機能訓練・生活リハビリ等を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消および心身機能の維持ならびに、利用者家族の身体的および精神的負担の軽減を図ります。 3. 家庭に引きこもりがちな高齢者が通所を利用することにより、生活に“ハリ”・“リズム”をつくり精神的安定を図れるように努めます。 4. ゆったりとした安全な環境をつくり、住み慣れた地域で家庭生活を継続できるように支援します。 5. 地域とのつながり、家族とのふれあい、ボランティアの受け入れにより、地域に開かれたデイサービスを目指します。	I 1. 個人の身体状況を鑑みながら通所介護計画書を作成し、入浴・排泄・機能訓練など個々に必要な介助をすることができました。 2. 特に調理などのレクリエーションや体操を通じて他利用者同士が交流できる場を提供したり、外出行事なども徐々に再開して、心身のリフレッシュや身体機能の維持にも繋げることができました。またご家族のニーズに応じて送迎の時間を調整したり、夕食の提供などを行い、ご家族の負担を減らせることができました。 3. 定期的なデイの利用をしてもらい、生活リズムを作り、行事などに楽しみをもって参加されていました。 4. 生活動線を広くとるなど安全面に配慮できました。 5. コロナやインフルエンザなどの館内感染等もありボランティアの受け入れはありませんでした。

II 年間目標 1. 利用者や家族との信頼関係や理解を深め、個々人に合った個別ケアの提供を図り、利用満足度の向上を図ります。 2. 半日の利用や夕食の提供など利用者のニーズを把握し、それに合わせたサービスを展開していきます。 3. 他職種間での連携を密にとり、利用者のQOLの向上を目指し、利用者が安心してサービスを受けられるように努めます。	II 1. 連絡帳でデイサービスでの様子などを報告、または連絡を行い情報共有に努めました。 2. 半日利用や夕食の提供のニーズも一定数あり、需要に応えることができました。 3. 朝の申し送りや申し送りノートを使うことで、情報の共有ができました。
III 個別ケアの取組み 利用者個々の望みや課題を利用者の立場に立って正確に把握し、通所介護計画を立案し、プランに沿った援助を行います。	III 利用者ニーズなどに配慮した通所介護計画書を作成し、それに則り援助することができました。
IV 家族との信頼関係の構築 在宅サービスは、ご家族にとっても心身にゆとりの持てる時間を提供する側面もあることから、安心して利用者を送り出せるように、ご家族に対しても日ごろからコミュニケーションを取り、良好な信頼関係を築き、お互いに協力できる体制を作ります。	IV 送迎時や連絡帳を使用し、ご家族とコミュニケーションをとることができました。
V 関連機関との連携 介護支援専門員、地域の関係機関との連携・協力に努めます。また、サービス提供場で得られる利用者やご家族の情報を居宅支援事業所に提供し、情報の共有をします。特別養護老人ホーム併設のユニットとの連携や協力関係を一層図り、事業所として地域に安心感を与え、信頼関係に努めます。	V 毎月モニタリングを行い、居宅支援事業所にご利用者の様子を報告することができました。また都度、必要な場合は連絡を入れることができました。 デイの他にショートステイもご利用の方はユニットとの情報共有ができました。
VI 職員の資質向上 サービスの向上を図るため、内部研修を実施しケアの基本・専門知識を修得します。専門性の高い研修については、外部機関が実施する研修に参加し最新情報を修得します。 また、毎日のミーティングと毎月の会議では業務内容やサービスについて話し合い、情報	VI 外部機関の研修はスケジュールなどの問題も含め、参加不十分でした。 また、毎日のミーティングや定期的な会議などは行うことができました。

共有を行います。																																											
VII 事業活動 1. デイサービスの稼働率65%（一日平均16名）を目指します。 2. ホームページやパンフレットを活用した情報発信の強化を図り、デイサービスでの取り組みや魅力を広め、新規利用者の獲得に努めます。 3. 居宅介護支援事業者などの各種関係機関との連携を図ることで、デイサービスへの理解を深めてもらい、紹介等の機会へと繋がります。	VII 1.2.3 年間稼働日数 310 日。 年間延べ利用者数 3,575 名（前年度比 -346 名）、一日の平均利用者数 11.5 名（前年度比 -1.4 名）。稼働率 46.0%（前年度比-4.4%）。 <table><tr><th>居宅名</th><th>人数（令和7年3月）</th><th>前年比</th></tr><tr><td>みどりの風</td><td>14</td><td>▲ 1</td></tr><tr><td>新橋</td><td>1</td><td>△ 0</td></tr><tr><td>ちよCOM</td><td>2</td><td>▲ 1</td></tr><tr><td>クローバー壮</td><td>0</td><td>▲ 1</td></tr><tr><td>よしの</td><td>0</td><td>▲ 1</td></tr><tr><td>藤の花</td><td>3</td><td>△ 1</td></tr><tr><td>ちよだ</td><td>0</td><td>△ 0</td></tr><tr><td>明和社協</td><td>0</td><td>△ 0</td></tr><tr><td>こでまり</td><td>1</td><td>▲ 1</td></tr><tr><td>かがやき</td><td>1</td><td>△ 1</td></tr><tr><td>とくめい</td><td>1</td><td>△ 0</td></tr><tr><td>真央</td><td>1</td><td>△ 0</td></tr><tr><td>つむぎの里</td><td>0</td><td>▲ 1</td></tr></table> 今回よりインスタグラムを開設し、関係機関やご家族なども閲覧しており、そこから利用に繋がった例もありました。 引き続き居宅への挨拶に伺ったり、パンフレットやホームページを活用して広報活動やケアマネージャーとの連携を図ります。	居宅名	人数（令和7年3月）	前年比	みどりの風	14	▲ 1	新橋	1	△ 0	ちよCOM	2	▲ 1	クローバー壮	0	▲ 1	よしの	0	▲ 1	藤の花	3	△ 1	ちよだ	0	△ 0	明和社協	0	△ 0	こでまり	1	▲ 1	かがやき	1	△ 1	とくめい	1	△ 0	真央	1	△ 0	つむぎの里	0	▲ 1
居宅名	人数（令和7年3月）	前年比																																									
みどりの風	14	▲ 1																																									
新橋	1	△ 0																																									
ちよCOM	2	▲ 1																																									
クローバー壮	0	▲ 1																																									
よしの	0	▲ 1																																									
藤の花	3	△ 1																																									
ちよだ	0	△ 0																																									
明和社協	0	△ 0																																									
こでまり	1	▲ 1																																									
かがやき	1	△ 1																																									
とくめい	1	△ 0																																									
真央	1	△ 0																																									
つむぎの里	0	▲ 1																																									
VIII 年間行事計画	VIII 当初の計画通り概ね実施できました。																																										
IX 施設内研修	IX 上記VIに準じます。																																										

居宅介護支援事業

令和6年度事業計画	結果報告																		
I 居宅介護支援事業基本方針 1. 介護保険法及び当法人基本理念に基づき、利用者が住み慣れた地域において、安心して暮らして頂けるよう相談援助に努めていきます。 利用者の意向を踏まえ自己決定権を尊重し、個々の有する能力に応じて更なる自立した生活が営んでいけるよう支援していきます。 また、自立支援に向けたサービス計画を作成するにあたり行政機関、医療、福祉サービス、地域包括支援センター、サービス事業所等との密接な連携を図り、総合的かつ効果的なサービス提供ができるよう努めていきます。 II 重点事項 1. 信頼関係の構築 自立支援に向けたサービス計画を策定するにあたり、利用者や家族の意向を尊重し、十分な説明及び傾聴を心掛けて信頼関係の構築に努めます。 2. 利用者本位のケアプランの充実 住み慣れた地域での生活が安心して継続できるよう、利用者の意向を尊重しつつ介護保険サービス・インフォーマルサービス等を総合的かつ効果的に提供されるよう配慮し、課題を見極め、適切な自己選択により利用者本位のケアプランが作成できるよう努めます。 3. 介護支援専門員としての資質・専門性の向上 利用者の多様化するニーズにお応えできるよう各種研修等への積極的な参加により専門知識を広め、日々の自己点検により適切なケアマネジメントを行えるよう自己研鑽に努めます。 III 業務内容 1. 介護給付支援サービス事業 2. 予防給付支援サービス事業 3. 居宅介護支援センター業務 IV 研修計画 1. 法人内部研修会への参加 2. 外部研修への参加 V 令和6年度 年間件数 <table><tr><td>合計目標</td><td>要介護計画件数</td><td>720件</td></tr><tr><td></td><td>要支援計画件数</td><td>120件</td></tr><tr><td></td><td>介護認定調査</td><td>36件</td></tr></table>	合計目標	要介護計画件数	720件		要支援計画件数	120件		介護認定調査	36件	I 1. 介護を必要とする利用者ができる限り自立した生活を送ることができるよう、適切なサービスを提供することができました。 II 1. 利用者や家族の意向を尊重し、十分な説明及び傾聴を心掛けて信頼関係の構築ができるよう留意してきました。 2. 介護保険サービスだけでなく多方面のサービスを活用できるよう利用者に選択肢を提示し、利用者本位のケアプランを作成することができました。 3. 介護支援専門員の上位資格である主任介護支援専門員を取得することで業務全体を見渡したマネジメントを実施し、質の高い介護を提供することができました。 III 業務内容に差異はありません。 当初の計画通り業務を遂行できました。 IV 研修計画 上記Ⅱ-3に準じます。 V <table><tr><td>合計</td><td>要介護件数</td><td>638件</td></tr><tr><td></td><td>要支援件数</td><td>231件</td></tr><tr><td></td><td>介護認定調査</td><td>51件</td></tr></table>	合計	要介護件数	638件		要支援件数	231件		介護認定調査	51件
合計目標	要介護計画件数	720件																	
	要支援計画件数	120件																	
	介護認定調査	36件																	
合計	要介護件数	638件																	
	要支援件数	231件																	
	介護認定調査	51件																	

厨房 令和6年度事業報告

項目	回数/年	業者	決算	備考
害虫駆除作業	1回/年	伊藤ビル管理事務所	¥77,000	保健所の指導により必須
貯水槽清掃	1回/年		¥88,000	
飲料水検査	2回/年		¥27,500	
冷蔵庫保守契約	1回/年	ホシザキ	¥80,190	年2回の定期点検付き
洗浄機保守契約	1回/年		¥19,800	
カートリッジ交換	1回/年		¥26,000	スチームコンベクションオープン用
非常食購入	随時	雄峯食品 ヘルシーフード	随時	・非常食3日分を確保。 ・賞味期限の近くなったものを入替え。 ・入替えたものはニッкок買取。
飲料購入	随時	雄峯食品 ヘルシーフード	随時	厨房、ユニット、デイで使用する飲料やトロミ剤の購入
通常外の食事代	3回/年	ニッкокトラスト	食材により変動 ¥40,000	おせち料理、春御膳、敬老御膳の重箱提供時の追加料金。(品数が多く入るため)
厨房用品購入	随時	ヤマダ電機 信濃化学	随時	ミキサーの故障時、食器の購入等
消耗品購入	随時	島岡商店 三洋商事 クリバ	随時	洗剤、使い捨て手袋、サランラップ等
修繕	随時	ホシザキ 他	随時	厨房機器の老朽化が進んでおり、メンテナンスも必要となる。

厨房 令和6年度事業報告

食行事年間計画

月	行事	時間帯	内容
4	お花見	昼	春御膳(重箱)
5	こどもの日	おやつ	鯉のぼりのおやき
7	七夕	昼	七夕そうめん
	土用丑の日	昼	うなぎちらし
8	盆	おやつ	おはぎ
9	敬老の日	昼	敬老御膳(重箱)
10	ハロウィン	おやつ	かぼちゃプリン
11	秋の味覚	昼	秋刀魚の塩焼き
12	冬至	昼	かぼちゃ料理
	クリスマス	昼	クリスマス献立
	クリスマス	おやつ	クリスマスケーキ
	大晦日	昼	年越しそば
1	元旦	昼	おせち料理(重箱)
	七草粥	朝	七草粥
	鏡開き	おやつ	おしるこ
2	節分	昼	恵方巻、しもつかれ
	バレンタイン	おやつ	バレンタインおやつ
3	ひな祭り	昼	ちらし寿司
	ひな祭り	おやつ	ひなあられ
	春彼岸	おやつ	ぼたもち